



▲馬車道イルミネーションロード「光の並木路」

東武馬車道通り

うつのみや 路物語 宮ストリートストーリー

この通りは「東武一番通り」の名称で長年親しまれてきましたが、平成16年の街路整備を機に、「東武馬車道通り」として生まれ変わりました。東武宇都宮駅付近に貨物倉庫があった昭和6年ごろに、この通りを多くの馬車が行き交っていたことが名前の由来です。

通りの突き当たりには東武百貨店があるため、中心市街地の通行量調査では、通行人に占める女性の割合が毎回一番多く、商店街の理

事も7人中4人が女性です。いつもきれいな通りを目指し、花壇やハンギングバスケットで1年中花を絶やさないようにするなど、女性ならではの視点を大切にしています。

また、毎年、イルミネーションで冬の夜を華やかに演出しています。16基の街路灯をもみの木に見

路の数だけ物語がある。うつのみやの路を紹介します。



東武馬車道通り商店街
振興組合
理事長
上野 すみ子さん



▲東武馬車道通りの花壇



立てて、雪の結晶やハートの形をしたシエイプランプをつるすなどみんなで知恵を出し工夫しながら少しずつ増やしてきました。9年目の今年には各街路灯をLEDライトでつなぎ、「馬車道イルミネーションロード光の並木路」としました。小規模ですが、「色とりどりであたたかみがあったいいね」と好評です。今年の冬は、平成25年1月14日まで開催しています。

いつも花がいっぱい、夜も明るく安全な通りです。たくさんのお客さんに訪れていただき、「ここが東武馬車道通りなんだ」ということを広く知られるようになることを願っています。